

平成27年度 都市農村共生・対流総合対策交付金(山村活性化支援対策)事業実施評価書

1. 事業名

・山村活性化支援対策

2. 事業実施主体名

・江津市地域資源活用協議会

3. 事業概要

・事業目的

○桑

機能性表示食品制度の取得に向けて、研究機関や健康食品関連企業との連携により共同研究を行い、その成果を活用した加工食品の開発に向けた試験研究を行った。

○コケ

地元企業等と連携したコケの加工による付加価値商品の創出を図るとともに、都市部での新規の販路開拓を行った。

○未利用木材

林業事業体が森林の集約化を実施し、木材生産がスムーズに行われるよう、江津市が保有する森林所有者データを林業事業体と共有するための同意の取り付け及び、木材生産にかかる意向調査をアンケート形式で行い、未利用木材活用の基礎資料を作成した。

・事業費・交付額(単位:円) 事業費 9,200,916円 交付額 9,084,560円

・事業実施期間 平成28年1月14日 ～ 平成28年3月31日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

○桑

1年目は、機能性表示食品制度の取得に向けた共同研究の期間であり、目標の設定をしていないため、目標達成の判定ができないが、研究機関への委託により、桑の成分分析の結果は得られた。

○コケ

コケの加工による付加価値商品の創出及び都市部での販売促進の取組を行ったが、商品売上は4,084千円となり、達成率45%と目標を達成できていない。しかし、都市部における反応は良好であり、今後の営業にいかしていきたい。

○未利用木材

1年目は、林業事業体の雇用人数が58人となり94%の達成、木材出荷登録者数については13人となり260%の達成率となった。自伐林業木材出荷金額については、113,000円と達成率が87%と目標を達成できていないが、木材生産にかかる意向調査の取組により、木材出荷に意識のある森林所有者を把握しており、研修会等の情報を的確に伝えることが可能となったため、2年目以降は目標値の達成を目指したい。

(2) 取組状況

○桑

機能性表示桑加工品の開発のため、桑の機能性成分の探索に向け、HbA1C低減効果に係る臨床試験のためのスケジュールの作成、成分分析、試験商品の製造を株式会社ネオサークルに委託し、試験結果等の成果品を得た。

○コケ

庭園デザイナー石原和幸氏や地元企業と連携し、コケ玉やテラリウムなどの商品開発や福岡、東京での展示会を開催するなど計画通りの取組ができた。

○未利用木材

森づくりに関する意向調査票を作成し森林所有者5,687人に対し、郵送によるアンケート調査及び林業事業体との情報共有に関する同意取付けにかかる取組ができた。

(3) 事業実績

○桑

桑のHbA1C低減効果に係る臨床試験に向けたスケジュール作成、成分分析、試験商品の製造により、平成28年度中の機能性表示桑加工品の開発に向けて順調に段階を進めた。

○コケ

コケ玉やテラリウムなどのコケ商品の開発や、福岡、東京、江津での展示会開催により、江津のコケの認知度を高めることができた。

○未利用木材

森林所有者5,687人に対し、木材生産等に係る意向調査票を送付し、2,711件の回答を得、そのうち1,811人については林業事業体との情報共有の同意を得ることができた。このことにより、木材の生産に意欲的な森林所有者の把握が可能となった。

(4) 実施体制

○桑

桑の販売促進に向けた取組みについては有限会社桜江町桑茶生産組合が実施。

○コケ

桑の販売促進に向けた取組みについてはドクターリセラ株式会社が実施。

○未利用木材・協議会事務局

森林所有者に対する意向調査、自伐林業者の育成や協議会の事務局運営については江津市が実施。

2年目以降は江津市森林組合・邑智郡森林組合と情報を共有し、木材生産を進める。

(5) その他事項

特になし

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標		目標値	実績値	達成率
桑	桑の新植・改植にともなう圃場拡大による雇用人数(人)	0人	0人	—
	機能性表示制度に取り組む雇用人数(人)	0人	0人	—
	(全体雇用)	(26)人	(26)人	—
	機能性に特化した商品売上(円)	0円	0円	—
コケ	コケ事業に取り組む雇用人数(江津市内)(人)	6人	3人	50%
	耕作放棄地等利用(解消)面積(m ²)	10,900m ²	13,100m ²	120%
	コケ商品売上(円)	9,000,000円	4,084,000円	45%
未利用木材	市内林業事業体雇用人数(人)	62人	58人	94%
	自伐林業木材出荷登録者数(人)	5人	13人	260%
	自伐林業木材出荷金額(円)	129,600円	113,000円	87%

(計測方法)

○桑

・雇用人数:有限会社桜江町桑茶生産組合からの聞き取りにより確認

・機能性に特化した商品売上:有限会社桜江町桑茶生産組合からの聞き取りにより確認

○コケ

・雇用人数:ドクターリセラ株式会社からの聞き取りにより確認

・耕作放棄地等利用(解消)面積:コケ生産者への聞き取りにより確認

・コケ商品の売上:ドクターリセラ株式会社からの聞き取りにより確認

○未利用木材

・市内林業事業体雇用人数:市内林業事業体からの聞き取りにより確認

・自伐林業木材出荷登録者数:江津市の補助制度に対する出荷登録者数により確認

・自伐林業木材出荷金額:江津市の補助制度に対する出荷実績により確認

・所見

○桑

桑の販売促進については、今後も計画通り機能性表示加工品の商品開発に向けて臨床試験棟を実施する。

○コケ

コケの販売促進については、事業期間が短かったため、年度内に商品の認知度を高めることができず、目標値9,000,000円を達成できなかった。

平成28年度ではさらなる販売促進活動により認知度を高め、年度目標の達成を目指す。

○未利用木材

未利用木材については、バイオマス発電により安定的な需要があることから、木材の生産が課題である。

平成27年度中に取得した森林所有者の意向調査のデータを基に、出荷者や伐採可能森林の確保を図りたい。

市内林業事業体の雇用人数については、定年退職者や辞職者があったため、目標値62人を下回ったが、林業事業体は雇用に意欲的であり、目標を上回る求人を行っている。

自伐林業者の木材出荷金額については、出荷者の技術が未熟だったため生産性が低く、目標値129,600円を達成できなかった。

平成28年度では、出荷者の確保と共に生産性の向上のため、搬出技術の練度を高める取組により年度目